

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

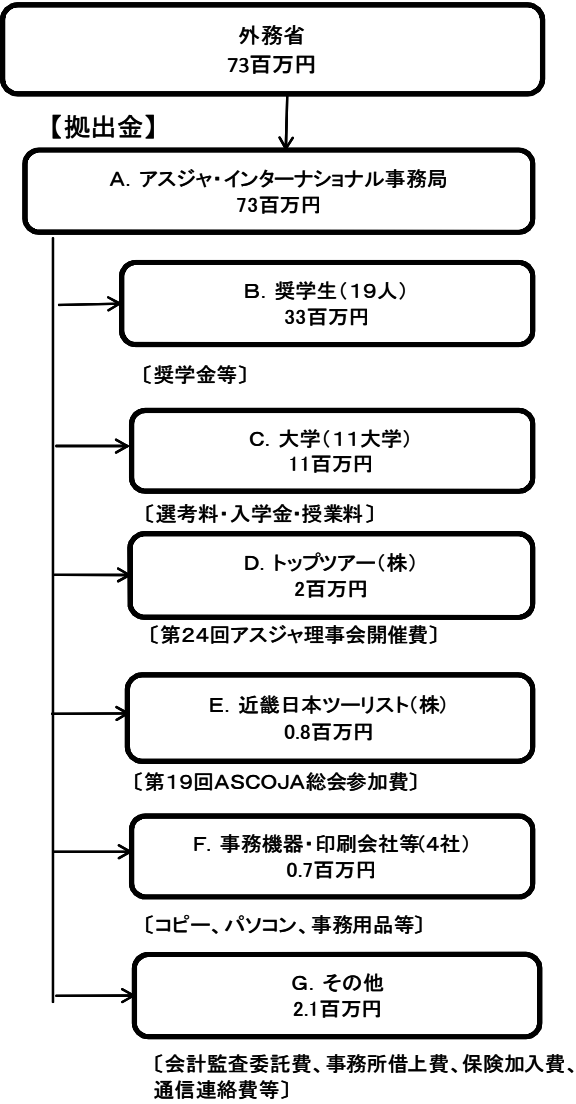
事業名	アセアン私費留学生対策等拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	外務報道官・広報文化組織		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度開始 ・平成25年度終了(予定)		担当課室	人物交流室		室長 中田 昌宏			
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶー1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項及び第3項		関係する計画、通知等	アスジャ・インターナショナルからの要請					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本拠出金をアスジャ・インターナショナルに拠出し、ASEANの帰国留学生会と連携してASEAN諸国からの留学生に対する奨学金支給等の事業を行い、我が国とASEAN諸国との間の友好協力関係の中核的担い手となる知日家、親日家を養成・支援する。また、ASEAN各国の帰国留学生会が、自ら次世代の留学生を選出することで、日本との繋がりを維持することとし、帰国留学生会を活性化すること等も期待される。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ASEAN元日本留学生評議会(ASCOJA:元日本留学生が組織するASEAN各国の帰国留学生会の連合組織であり、総会員数約4万2000人からなるASEANにおける親日層の基盤。各国において日本文化・日本語等の普及活動を、我が国大使館と連携しつつ実施。)の日本側カウンターパートであるアスジャインターナショナルは、本拠出金によりASCOJAに加盟する8カ国の奨学生に対し、を受け入れ、奨学金(学費・生活費)を支給(奨学生は1年間の日本語教育を受けた後、希望の大学院を自らの実力で受験し進学)するとともに、奨学生の対日理解と我が国との友好関係増進を図るため、様々な日本文化体験行事、草の根交流事業等を実施。また、ASCOJA加盟国の帰国留学生会幹部で構成される国際理事会を毎年1回開催し、本制度の運営方針等を協議。なお、平成23年度からは、新規奨学生の受け入れは行っていない。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	123	104	73	60	30		
		補正予算	0	0	0				
		繰越し等	0	0	0				
		計	123	104	73	60	30		
	執行額		123	104	73				
執行率(%)		100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	アスジャ奨学生の年度毎の卒業生の内、日本企業・日本関係機関に就職又は母国において日本語教師等に就任した者の人数。達成度は卒業生総数に占める上記人数の割合。			成果実績	人	3	10	2	
				達成度	%	50	77	40	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	各年4月時点で在籍する奨学生人数			活動実績 (当初見込み)		30	32	19	—
						30	32	19	14
単位当たりコスト	3,176,105(円/1人)			算出根拠	平成23年度の拠出金額を同年度の在籍奨学生で除した金額				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	奨学金	42	10	平成25年度の事業廃止に向けた事業縮小による減					
	事務局運営費	15	15						
	留学生会支援経費	3	6						
計	60	30							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	△	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名 国費留学生度 文部科学省	
点検結果	平成21年度行政刷新会議において、本件拠出金による奨学金事業は、同様の奨学金事業と統合して廃止すべきと評価が示され、見直しが求められたことから、平成23年度以降の新規奨学生受け入れを中止し、既に受け入れ済みの奨学生全員が卒業する平成25年度をもって本件拠出金を廃止することとした。		
	平成25年度の廃止に向け漸次縮小することが決定してしていることを踏まえ、奨学生の学費(奨学金・授業料)及び事務局運営経費(人件費・借料)等奨学生受け入れ事業に最低限必要とされる経費にて実施している。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	拠出額減額		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
段階的廃止	平成25年度の事業廃止に向けた事業縮小による減		
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
事業仕分け第1弾 事業番号2ー50 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント: 第2WG としては、更なる見直しを求めたい。重複の排除及び民間実施等の観点から、見直しを行っていただきたい。また、可能なものは国に返還することも行っていただきたい。なお、見直しの観点にあてはまらない拠出金については、見直しを行わないことにも留意して、新政権の下で具体的に精査を行う必要がある。 また、外交の目的は国益たることを前提として、効果や検証の仕組みをきちんと作るべきであり、体験談や印象による正当化では国費を投入する根拠にはならないという点も考慮して、検証・改善していただきたい。 最後に、いつまでこの拠出金を出し続けるかについても、戦略が見えていないことから、新政権の下でしっかりと議論を求めたい。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0112	平成23年行政事業レビュー	0114

個別事業名： アセアン私費留学生対策等拠出金

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)



個別事業名：

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.アスジャ・インターナショナル事務局			E.近畿日本ツーリスト(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	学費	奨学生の奨学金等	33	旅費	ASCOJA総会参加費	0.8
	学費	大学入学金、授業料	11			
	人件費	職員給与	9			
	保険料	健康保険、厚生年金、労働保険等	2			
	借料	教育・研修施設、事務機器等	1			
	旅費	航空賃、国内交通費	3			
	監査費	会計監査費用	0.6			
	保険料	奨学生の海外旅行傷害保険	0.3			
	通信費	電話使用料等	0.4			
	印刷費	活動報告等	0.3			
	雑費	振込手数料、PCサポート費等	0.2			
	その他	積立金、次期繰越金等	13			
	計		73	計		0.8
	B.奨学生A			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	生活費	奨学生に対する奨学金	2			
	計		2	計		0
	C.早稲田大学大学院(6名)			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	学費	奨学生選考料・入学金	0.2			
	学費	奨学生授業料	3			
	計		3	計		0
	D.トップツアー(株)			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	第24回アスジャ理事会(海外理事航空賃)	2			
	会議費	第24回アスジャ理事会開催費	0.3			
	計		2	計		0

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A. アスジャ・インターナショナル事務局

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アスジャ・インターナショナル事務局	アスジャ奨学生の受け入れ、研修等の実施	73		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	奨学生A(シンガポール)	奨学金(年間)	2		
2	奨学生B(インドネシア)	奨学金(年間)	2		
3	奨学生C(マレーシア)	奨学金(年間)	2		
4	奨学生D(フィリピン)	奨学金(年間)	2		
5	奨学生E(タイ)	奨学金(年間)	2		
6	奨学生F(ミャンマー)	奨学金(年間)	2		
7	奨学生G(カンボジア)	奨学金(年間)	2		
8	奨学生H(カンボジア)	奨学金(年間)	2		
9	奨学生I(カンボジア)	奨学金(年間)	2		
10	奨学生J(ベトナム)	奨学金(年間)	2		

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	早稲田大学大学院(6名)	選考料、入学金、授業料	3		
2	東京大学大学院(3名)	選考料、入学金、授業料	2		
3	慶応義塾大学大学院(1名)	授業料	1		
4	立命館アジア太平洋大学大学院(1名)	授業料	1		
5	大東文化大学大学院(2名)	選考料、入学金、授業料	1		
6	明治大学大学院(1名)	授業料	0.7		
7	東京理科大学大学院(1名)	授業料	0.7		
8	一橋大学大学院(1名)	授業料	0.5		
9	桜美林大学大学院(1名)	授業料	0.5		
10	東京工業大学大学院(1名)	授業料	0.3		

D. トップツアー(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	トップツアー(株)	ASEAN諸国理事の訪日渡航関連業務	2		

E. 近畿日本ツーリスト(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿日本ツーリスト(株)	アスジャ・インターナショナル理事等の国際航空券手配	0.8		

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス(株)	印刷費(活動報告書等)	0.3		
2	日立キャピタル(株)	事務機器(コピー機リース)	0.3		
3	アスクル(株)	事務消耗品費	0.1		
4	芙蓉総合リース(株)	事務機器(パソコンリース)	0.1		

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	朝岡公認会計士事務所	監査費	0.6		
2	東京日本語教育センター	借料(事務所賃貸)	0.6		
3	(株)国際サービスエージェンシー	保険料(奨学生海外旅行保険加入費)	0.3		
4	NTT東日本	通信費(電話代)	0.2		
5	郵便局	通信費(資料送付)	0.1		
6	PCAサポート	雑費(会計ソフトサポート費)	0.1		
7	銀行	雑費(振込・両替手数料)	0.05		
8	弥生サポート	雑費(給与計算ソフトサポート費)	0.04		
9	NTTコミュニケーションズ	雑費(電話代)	0.04		
10	(有)プランネル	雑費(印刷費)	0.03		